

全国チョウ類保全シンポジウム

—ミヤマシロチョウの今—

2020年11月15日(日)

10:30-16:00

東御市中央公民館(長野県)

特別講演：海野和男氏



ミヤマシロチョウ

Aporia hippia

7月頃に姿を現します。

標高1,400m以上の山地に見られ、溪谷や稜線をゆるやかに滑空します。

高山蝶のひとつで、北アルプス、八ヶ岳、南アルプス、浅間山系、関東山地に分布しますが、危機的な状況になり、各地で保全活動が行われています。

夏の山地を優雅に舞う、ミヤマシロチョウ。

かつては個体数も多く、登山道では集団で吸水する姿もよく見られました。

しかし、現在では各地で激減し、絶滅が強く懸念される状態となっています。

今回は、ミヤマシロチョウの危機的な状況を共有するとともに、今後、どのように保全していくべきかを考えます。

チョウや自然に興味のある方、登山の好きな方、自然環境の保全に興味のある方など、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

主催 認定NPO法人 日本チョウ類保全協会、
浅間山系ミヤマシロチョウの会、東御市公民館

後援 長野県、東御市教育委員会

富士フィルム・グリーンファンド
(FGF)の助成を受けて開催します

全国チョウ類保全シンポジウム

全国チョウ類保全シンポジウムは、2007年1月に岐阜県で初めて開催されました。チョウをシンボルとして地域の自然環境を考える場として、今後、全国各地で開催を予定しています。

今回は、ミヤマシロチョウが現在でも多く生息する長野県東御市を会場に、チョウを通じて自然に親しみ、守ることについて、皆様と考えていきたいと思ひます。

プログラム

10:00 開場

10:30 開会

(1) 特別講演 「東信地方のチョウ～今昔～」 10:45～12:00
海野和男氏（昆虫写真家・日本自然科学写真協会会長）

休憩 12:00～13:00

(2) ミヤマシロチョウの生息状況：各地からの現状報告 13:00～14:30
浅間山系、八ヶ岳、美ヶ原、南アルプスでの近年の生息状況および
保全活動について、現場からの報告

浅間山系ミヤマシロチョウの会、 孺恋村高山蝶を守る会、
茅野ミヤマシロチョウの会、 原村ミヤマシロチョウの会、
静岡昆虫同好会、 日本チョウ類保全協会、ほか

休憩 14:30～14:45

(3) パネルディスカッション 14:45～16:00

ミヤマシロチョウをはぐくむ自然環境の保全に向けて

16:00 閉会



お申し込み方法ほか

■会場：東御市中央公民館は、しなの鉄道田中駅から徒歩5分、JR上田駅からタクシーで20分、上信越自動車道東部・湯の丸ICから車で5分です。

■参加費：無料

コロナウィルス対策のため、会場の入場者数を75人に制限し、先着順となります。参加を希望される方は、必ず下記までお申し込みください。

■お申し込み方法：お申し込みは電話のみで、平日の9:00～17:00の間におかけください。その際「全国チョウ類保全シンポジウムの申し込み」とお話しいただき、氏名・住所・電話番号・全日参加かどうか・弁当の注文（1,000円）をお知らせください。

■コロナウィルス対策のご協力をお願い：

- ・ご来場に当たっては、マスク着用の上、検温及びアルコール消毒にご協力をお願いします。
- ・発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状のある方、過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方は参加をご遠慮ください。
- ・新型コロナウィルスの感染拡大状況により集客が困難となった場合には、開催を中止する可能性があります。

お問い合わせ・お申し込み先

■東御市教育委員会 文化財係（担当 山内、戸堀）

〒389-0517 長野県東御市 288-4 TEL：0268-75-2717